

化石燃料ゼロハウス「風の学舎」を拠点とした温暖化防止推進 および地域活性化事業

取り組みに至る背景・事業の目的

近代技術と伝統技術の組み合わせにより、化石燃料を使用しないで日常生活が可能であることを「風の学舎」での体験を通じて提案し、日常の暮らしにおいても実践可能な省エネルギーや自然エネルギーを利用したスローライフの具体的なヒントを得てもらうとともに、市民レベルから地球温暖化防止に向けた意識の醸成を図っていく。

事業内容

○ 温暖化防止セミナー、講演会の開催

「住宅から環境を考える」をテーマに、温暖化防止セミナーを2回開催した。また、「地域再生の戦略」と出した講演会を、月尾東大名誉教授をお招きして実施し、環境を守る上で地産地消の大切さについて認識を深めた。

○ キャンドルナイトの実施

6月と12月に全国運動に合わせて100万人のキャンドルナイトを実施した。特に12月にはキャンドルと竹宵づくりを行い、子供達にも大勢参加してもらうことができた。

○ 炭焼小屋

「風の学舎」で使用する炭を自前で調達するため、専門家の指導を得ながら炭焼小屋を建設した。

事業効果

○ 温暖化防止セミナーは2回開催し、50名の参加があり、特に環境共生住宅への関心の高さが伺われた。また、講演会には、100名以上の参加があった。

○ キャンドルナイトは、6月には約1万人の参加があり、国道沿いの事業所の大半の灯りが落ちるのが確認できるなど、大きな事業効果を得ることができた。12月には手作りキャンドルづくりに親子約30名が参加し、盛況だった。

○ また、スローライフ体験のための施設利用は、H20年5月のオープン以来、約800名の利用があった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

フードマイレージやウッドマイレージの大小比較からもわかるように、暮らしに地域の資源を有効活用することが、CO₂の削減につながるとともに、衰退している中山間地域の活性化にも資する。

次年度以降も、地域の資源で家づくりを柱の一つに据えて普及啓発事業に取り組むとともに、暮らしや農林業などの知恵や技術を持つ地元の人達を田舎名人として登録し、体験学習事業を引き受けていきたい。



【選定のポイント】

化石燃料ゼロを切り口とした活動は多岐にわたるとともに、圏域全体を先導する取り組みは波及効果も高く、今後への期待も大きい。

団体名	いいだ自然エネルギーネット山法師（飯田市）	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	事務局 電話 0265-29-8517	事業費	1,796,000円
ホームページ	http://yamabousi.net/	支援金額	394,000円
メールアドレス	info@yamabousi.net		